



情報セキュリティ

電気通信事業者の重大な社会的責任として

NTT西日本グループでは、お客様情報をはじめとする情報管理について、グループ会社の横断的なマネジメントを行い、「情報保護の徹底と企業の信頼回復」を目的に、各種情報における管理の強化・充実を推進しています。

特に、お客様情報および他事業者様情報の保護については、社会的要請を十分に認識し、情報の適正な取り扱いを推進していくことが、公共性を有する電気通信事業者としての重大な社会的責務と考えています。

NTTグループ情報セキュリティポリシー

NTTグループでは、グループ全体としての情報セキュリティ管理体制の強化を図る観点から、2005年4月に「NTTグループ情報セキュリティポリシー」を策定しました。

- 1 ブロードバンド・ユビキタス社会における情報セキュリティの重要性を深く認識し、安心・安全で便利なコミュニケーションネットワーク環境の構築に努め、情報セキュリティの確保に取り組んでまいります。
- 2 情報を保護することは、NTTグループの事業活動の基本であり、企業としての重要な社会的責任であることをNTTグループ会社の役員・従業員が十分に認識し、通信の秘密の厳守はもとより個人情報保護法等の関連法令等を遵守してまいります。
- 3 情報セキュリティの管理体制を整備し、情報への不正なアクセス、情報の紛失・改ざん・漏洩の防止等に向けた物理面、システム面での厳格なセキュリティ対策の実施、社員教育の徹底、委託先への適切な監督等、情報の保護に向けた必要な取り組みを継続的に実施してまいります。

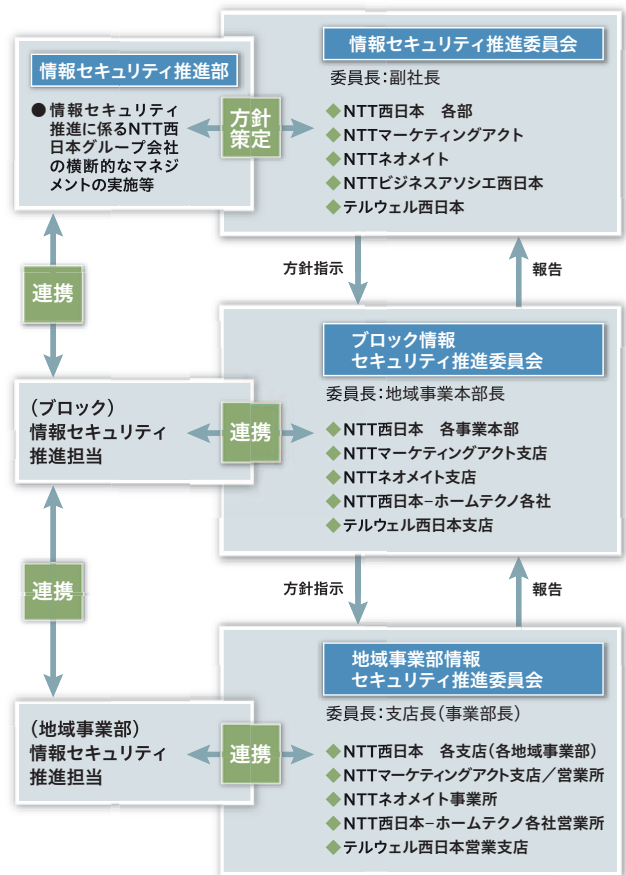
情報セキュリティ推進体制

安心・安全な通信サービスを提供するためには、情報セキュリティの確保は不可欠です。中でもお客様情報および他事業者様情報を適正に取り扱うことは、公共性の高い電気通信事業者としての重大な社会的責任と考えています。

その責任を果たすため、代表取締役社長直轄の「情報

セキュリティ推進部」を設けるとともに、お客様情報および他事業者様情報の適正な管理を推進する「情報セキュリティ推進委員会」を本社、支店、グループ会社（地域会社、広域会社）に設置し、NTT西日本グループ一体となった取り組み（全役員、全従業員に対し研修・啓発活動、社内規程類の体系的な整備等）によるセキュリティ確保を積極的に推進しています。また、管理強化のため「情報管理責任者」「情報適正利用監督者」「情報適正利用推進者」を定め、各管理者の責任範囲と役割を明確にしています。支店、グループ会社においては「情報管理責任者」が「情報セキュリティ推進委員会」の委員長を兼任し、「情報適正利用監督者」は委員会のメンバーとなっています。

● 情報セキュリティ推進体制



情報セキュリティ

情報を保護する仕組みの強化

情報保護を徹底するためには、ヒューマンエラー発生時においても情報を安全に保護する環境を構築することが喫緊の課題であると認識しています。情報のアウトプットについては、事前に許可を得た端末に限定することとしているほか、メールで社外に情報を送る際には、事前に許可を得た者に限定し、上長への同報送信の設定をしなければ送信できないシステムを構築しています。

なお、お客様情報保護強化期間の7月～9月(3カ月間)において、事業部内で相互に確認を行い、情報の保管・管理状況など20項目について点検し改善に努めました。また、年間を通じては、社員から募集した標語や「情報セキュリティの日」の注意喚起により、社員の意識向上を図っています。

同様に、他事業者様情報の適正な取り扱いの徹底に向けては、他事業者様情報を営業部門から隔絶するための措置(顧客情報管理システムの改修)や規範強化に向けた取り組み(他事業者様情報の適正利用に関する全社員研修の実施、パンフレット・注意喚起シール・日めくり式標語集の作成・配付、等)を実施しました。

2010年度においては、情報セキュリティ推進部の設置、他事業者様情報を取り扱う業務の見直しなど、さらなる他事業者様情報の適正利用の確保に向けた取り組みを行います。

お客様情報保護に関する研修

NTT西日本グループでは、経営トップから社員および人材派遣社員までの全社員を対象に、お客様情報保護の基本的な遵守事項、法律・管理体制、不適切な取り扱い事例と適切な対応などを盛り込んだパンフレットを使用し、研修を実施しました。

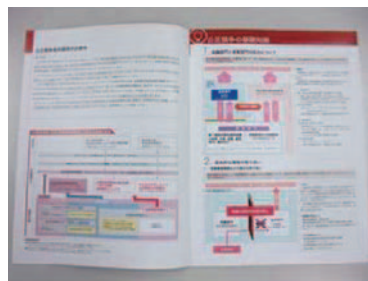
また、研修終了後には理解度をチェックするため、75,956名にWebを用いたお客様情報保護理解度チェックを行いました。全体で87.3%の正解率を得られましたが、正解率が70%未満の社員については、管理者による研修などを実施し、全体の理解度の向上を図りました。

委託会社、人材派遣会社との連携によるセキュリティ強化

お客様情報を適切に管理するにあたっては、NTT西日本だけでなく、委託会社、人材派遣会社などパートナー会社との連携を強化することが不可欠です。委託会社については、責任者を対象にお客様情報保護に関する研修の実施、委託先事業所における運用・管理方法の立ち入り点検などパートナー会社による情報セキュリティ推進体制の確立に向けた働きかけを行っています。

2009年度は7月からの4カ月間で、1,250カ所の委託先において、お客様情報の取り扱い状況の点検を実施し、お客様情報の持ち出し管理や入室管理などの改善を行いました。人材派遣会社については、本社が一括して、お客様情報の運用・管理状況、各社の管理体制などを総合的に審査し、基本契約を締結しています。また、基本契約締結会社の責任者を対象にNTT西日本の取り組みやお客様情報保護に関する研修会を開催しました。

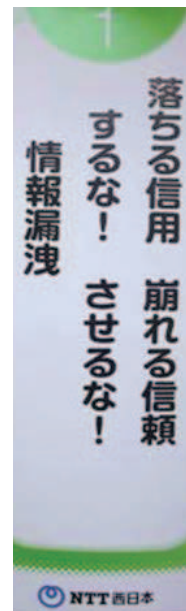
● 規範意識の強化に向けた各種ツール



パンフレット



注意喚起ツール



日めくり式標語集